**第４回　大刀洗町総合計画策定審議会　議事録**

【日　時】

平成30年10月23日（火）　14：00～16：00

【場　所】

　　　　　大刀洗町役場　2階　201号会議室

【議　事】

　　　　　■ 本編と概要版について

　　　　　■ 数値目標とわたしができることについて

　　　　　■ 答申（案）について

【主な意見】

本編と概要版について

●委員

ＩＣＴなどの分かりにくい言葉は解説を入れなくて大丈夫なのか。

○事務局

意味の分かりにくい語句などについては説明を入れていきます。

●委員

町民ニーズの施策の重要度や満足度の部分は何を基準にして並んでいるのか。

今の（案）のままではどういう基準で並んでいるのか分かりにくい。

○事務局

意見を踏まえて、散布図をもう少し分かりやすくすることで対応していきます。

（図を直接色づけするなど）

●委員

ＰＤＣＡサイクルの書き方でいくと策定後は見直しを行うということでよいのか。

○前回の総合計画は、策定後に審議会を開催するなどして意見をいただく機会をつくっ

ておりませんでしたが、第５次総合計画では、策定後も適宜、審議会等を開催するな

どして皆様にご意見をいただいていきたいと考えております。

●委員

基本構想の体系図のページ、将来像と基本目標が並列表記であることに違和感がある。

また、色は多用しない方が見やすい。

○事務局

基本目標の説明の部分では将来像を標記しないようにします。また、色については

デザインの支援を受けながら、より見やすいようにしていきます。

●委員

　人口の部分については、グラフだけを見るとかなり減少するように見えてしまう。実際の割合はそこまで減らないので、何割減少する（％）などを使用して標記した方が

分かりやすいのではないか。

○事務局

平成27年度と比較して何割減少、何人減少するなどを記載して分かりやすくしていきたいと思います。

●委員

グラフに単位が記載されていないのが気になる。また、審議会の名称や、本編と概要で「わたしができること」「わたしがやること」というように表現が違う。

　「やること」よりも「できること」の方が柔らかいので「できること」がよいと思う。

○事務局

ワードについては、統一を図ります。

また、「わたしができること」で統一させていただきます。

数値目標とわたしができることについて

“全体”

●委員

目標とする姿の項目の語尾が「〜いる」に統一しているがこの表現が気になる。

公園の部分については、快適な公園が「ある」となっている。「いる」ばかりではな

く、表現を検討していただきたい。

○事務局

　表現については、それぞれの施策毎に見直ししていきたいと思います。

“男女共同参画の推進と女性活躍推進”

●委員

「わたしができること」が少ないのでは。

役職の話になると一般的な町民がやれることとは異なってくるので、もっと町民の意

識の部分で設定してもよいのではないか。

●委員

女性だからという理由で役職を辞退しない・させない。という表現に違和感を感じる。

○事務局

否定的な言い回しを改め、「チャレンジするなど」の積極的な言い回しに変更したい

と思います。

また、女性側であれば、積極的にチャレンジする。男性側であれば、チャレンジする

方を応援する。などの双方からの視点で書き込むことも考えていきます。

“医療体制・医療保険・年金制度の充実”

●委員

医療費を意識して受診するという部分が気になる。受診すべきかどうかを判断してな

ど、もっと分かりやすい表現の方がよいと思う。

○事務局

意図としましては、不要な医療は受けない。というようなことを言いたいのですが、

　担当課とともに分かりやすい表現について検討いたします。

“住宅の整備”

●委員

数値目標について、定住促進住宅の入居率の現状値が100%なのに対して、90%に

設定している意図はあるのか。

○事務局

現在は100%の入居率ですが、10年後の経年劣化の影響も考えつつ、事業採算のラ

インである数値を設定し目標値は90%としています。

●委員

　目標値だから100％でよいのではないのか。説明を受ければ分かるが、説明を受けて

いない町民が見た時に、減っている目標としか思わない。

○事務局

　100％に数値を設定していくように検討します。

“公共交通の整備”

●委員

公共交通の危機的な現状をもっとポスターなどでアピールする必要があるのではな

いか。利用者も現状を知らない人が多いと思う。数値目標やわたしができることにも

現状をみんなで知っていくような内容を盛り込んで良いと思う。

○事務局

現状の周知等については、施策の中でしっかりと入れて行きたいと思います。

また、町民一人ひとりが周りにも声かけしていただくというようなことも、促してい

ければと考えております。

●委員

地域の鉄道もそうですが、補完的な地域交通の整備なども出てこなければならないの

ではないか。10年後は、自分で移動できない方も増えてくる。その部分はいかがか。

○事務局

数値目標やわたしができることの部分には補完的な交通については触れておりませ

んが、施策の文中にはしっかりと書き込むようにしています。

●委員

　高齢者も駅を活用したいが昔と比較すると、乗車券の販売が無人化になっていて乗り

方が分かりにくくなっている。高齢者に対してもＩＣカードの普及を進めると、利用

者も増えると思う。

●委員

数値目標の部分で行くと「一人一人があと何回乗れば改善する。」などの指標を整理

した方が個人に響くのではないだろうか。

○事務局

交通事業者と相談して数値化してみたいと思います。

●委員

　高速バスについても駐車場を整備してもらえば、もっと使い勝手がよくなる。

整備が必要だと思う。

”国際交流の推進“

●委員

未来会議では「空き家を活用して観光等に来た外国人を泊める。」という意見が出て

いた。

○事務局

観光等でいらっしゃる外国人もそうですが、農業研修等で町に住んでいる方もいて、

その方たちとの関わり方についても考えていきたいです。

●委員

交流するために新たなことを考えるよりも、今あるお祭りに参加してもらうとか、そいうことを考えた方がスムーズにいくのではないか。最初の声かけが大切だ。

●委員

外国人に対するアンケート調査はやったことがあるのか。

町の満足度については、そのようなアンケートをとると意見が沢山でてくると思う。

○事務局

今までは行ったことがありません。言語の問題もありますが検討していきたいです。

”上下水道の整備“

●委員

わたしができることの部分で節水をあげている意図は何なのか。

●委員

上下水道についての加入率は上がっているのか。

○事務局

水を安定的に届けるためには、水の確保が必要ですので、節水は水量確保の点から

あげています。

上水道は若干上がっていますが、下水道はほぼ横ばいという印象を受けています。

　節水の他にも上水道を引くことを検討する。というようなワードを含めることも検討

　します。

答申（案）について

●委員

都市計画の見直しを進めて欲しい。町には土地がたくさんあるけれど、開発などいじ

ることのできない土地が多すぎる。

優良農地として保全すべき土地と、その他の活用が見込める土地との色分けを検討し

ていただきたい。

企業が進出しやすくなれば、働く人が増えれば経済も町内で動くので良いことだ。

◎農業と商工業の調和のとれた、都市計画の見直しを検討すること。

●委員

住民が積極的に参加するというワードをぜひ入れていきたい。未来会議の中でも、

参加者が対話の場を経験したことで、町に対する理解を深めていた。

住民が積極的に参加する新しい協働の町づくりを進めていって欲しい。

◎住民が積極的に参加する行政と住民による協働のまちづくり。

●委員

健康づくりというのは、身体だけではなく、心の部分もある。地域の中で集いの場を

沢山つくってもらって、大人だけではなくて子ども達との交流や異世代の交流の場を

増やしたい。校区センター以外の集いの場も増えると良いと思う。

◎異世代の交流の場を創出していくこと。

●委員

　町に残ってくれる子ども達を増やしていけると良いと思う。子ども達が成長していく

過程で、地域で様々な経験を子どもの頃からやっていければ、町のことを好きになる。

◎子ども達が町に残りたいという思いを持ち、残りたくなる町をつくっていく。

●委員

　人口減少に対応するためには外国の方たちの力も借りなければならないと思う。

そういう意味でも、外から来た方たちの意見も聞けるような場もつくっていかなけれ

ばならないと思う。

●委員

都市計画の見直しは行わないのか。長期計画であれば、中間見直しなども検討してよ

いのではないか。農地も関連して考えるとよいと思う。

○事務局

都市計画については、見直しの時期も含め、10年以内の課題の一つと認識していま

す。

●委員

　人口減少が進むと子どもが減っていく。だからこそ、子どもを地域のみんなで育てて

いくという言葉は入れなければならないと思う。地域にとって子どもは大切だ。

◎子どもを地域のみんなで育てていく。

●委員

　未来会議に参加して中学生や高校生の意見を聞けたことがとても新鮮だった。

　若い人が意見を発して、大人も一緒に話を聞く。

意見をみんなで定期的に出し合えるような機会は、計画を作るためや10年に一度だ

けではなくて、継続してやっていくべきだと思う。

●委員

　未来会議は、総合計画をつくるために開催したものだと思うが、参加した中高生が実

にいきいきと発言していた。子どもに話を聞いてみたら、最初は参加を渋っていたが、

行ってみたら地域の人と話すことが楽しかったと意見していた。

町や地域のことを知り考えるよいきっかけとなるはず。

ぜひ、継続して開催してほしい。

◎地域のことについて、大人も子どもも町民同士が対話する機会を継続的に創出する。

●委員

　町内でバーベキューなどを出来る場所はあるのか。

日常的にみんなで集まれるような空間をつくることも大切だと思う。

○事務局

校区センターなどではバーベキューをやることができます。

◎若者や町民が集い楽しめる場を創出する。